



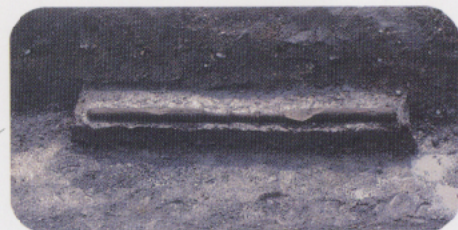
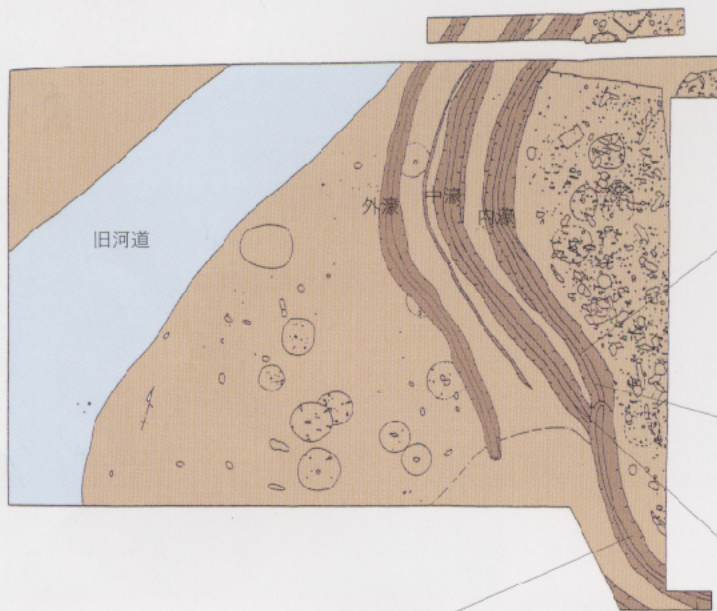
石鏃・石錐(右下2点)



筋砥石(左上)・砥石(右上)・凹石(左下)・粗製剥片石器(右下)

出土した石器のうち、地元で簡単に拾える河原石の砂岩を素材にした凹石や粗製剥片石器のほかは、すべて他地域の石材である。河原石を打ち欠いて作られた長さ・幅約10～13cmの粗製剥片石器は、刃部に光沢が観察されるものがあり、稲の根刈りに使用されたのではないかと考えられている。

木 器



杓



鋤



高杯



広鋤



諸手鋤

ほとんどの木器は内濠から出土している。この時期のものとしては完形例が少ない高杯、朱を塗った加工木・剣・斧柄の破片もあるが、農耕具に関連した木器が多い。また、未成品も多数あり、ミカン割り技法による板材も出土していることから、木器製品が集落内で作られたことが窺える。